

平成28年10月1日（土）

日本緑化工学会

平成28年通常総会

京都府立大学 稲盛記念会館 104講義室
（京都府京都市左京区下鴨半木町1-5）

－ 次 第 －

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議 案
 - （1）第一号議案 平成27年度事業報告
 - （2）第二号議案 平成27年度決算報告
 - （3）第三号議案 平成28年度事業計画案
 - （4）第四号議案 平成28年度収支予算案
 - （5）第五号議案 名誉会員の推挙
5. その他
6. 閉 会

第一号議案

日本緑化工学会 平成 27 年度事業報告

(平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日)

1. 第 46 回日本緑化工学会大会

開催年月日：平成 27 年 9 月 26 日～28 日

開催地：日本大学生物資源科学部（神奈川県藤沢市亀井野 1866 番地）

大会参加者：172 名 懇親会参加者：75 名

発表題数：82 題（論文 32、技術報告 23、研究交流発表 27）

口頭発表 26 件（論文 18、技術報告 8）、

ポスター発表 56 件（論文 14、技術報告 15、研究交流 28）

最優秀ポスター賞：3 件（論文 1、技術報告 1、研究交流発表 1）

論文部門 P-06-A：中国半乾燥地の固定砂丘上における *Artemisia ordosica* Krasch. 群落の構造に *Juniperus sabina* L. と土壌表層の環境条件が与える影響，松本哲也・三木直子・廣部宗・張国盛・王林和・吉川賢

技術報告部門 P-13-T：瀬戸内海中部沿岸域における海浜植物の希少性評価，戎谷遵・二神良太・岡浩平

研究交流部門 研交 10：施工後 35 年が経過した緑化地における木本群落回復の定量的評価，

堀田佳那・石井弘明・佐々木剛・土井直子・東若菜・小宅由似・今西純一・吉田博宣

2. 研究会等

(1) 生態・環境緑化研究部会／斜面緑化研究部会 第 46 回大会にて合同研究集会を企画

開催年月日：平成 27 年 9 月 26 日（土） 15：00～17：00

開催地：日本大学生物資源科学部 1 号館 141 講義室（神奈川県藤沢市）

テーマ：「生物多様性に配慮した公共事業の推進にむけた取り組み」

参加人数：150 名

(2) 生物多様性緑化研究部会 シンポジウムの後援

「都市のエコロジカルネットワークと鳥散布」（平成 27 年 12 月 5 日・明治大学）

(3) 乾燥地緑化研究部会 乾燥地緑化研究部会第 21 回シンポジウムを開催

開催年月日：平成 28 年 1 月 24 日（日） 13：30～

開催地：成蹊大学 14 号館 5F 演示室（東京都武蔵野市）

テーマ：「乾燥地の生態系とその課題」5. 西豪州における温暖化対策植林と塩害・
湛水害対策植林

参加者数：23 名 共催：日本沙漠学会

(4) 積雪寒冷地緑化研究部会 「平成 27 年度植生技術講演会」を開催

開催年月日：平成 28 年 3 月 16 日（金）13：30～17：00

開催地：北海道立道民活動センター（かでの 2.7）820 会議室（北海道札幌市）

演題：3 参加者数：118 名 共催：（一社）北海道造園緑化建設業協会

(5) 斜面緑化研究部会 勉強会

開催年月日：平成 28 年 6 月 10 日 17：00～19：00

開催地：東京農業大学 世田谷キャンパス 1 号館 5 階 511 教室（東京都世田谷区）

テーマ：「生物多様性保全に配慮した緑化事例 勉強会（第 1 回）」

参加者数：50 名

(6) 生態・環境緑化研究部会／斜面緑化研究部会 合同企画シンポジウム

開催年月日：平成 28 年 7 月 3 日（日）14：00～16：00

開催地：東京エレクトロンホール宮城 401 号室（宮城県仙台市）

テーマ：「生物多様性に配慮した公共事業の推進にむけた取り組み」

演題：4 参加者数：50 名 後援：環境省、宮城県

(7) 防災緑化研究部会 現地見学会・討論会を企画（3.（2）項を参照）

3. シンポジウム・見学会等

(1) 第 46 回大会 現地見学会「動物園の最新緑化技術」

開催年月日：平成 27 年 9 月 28 日（月）

見学地：横浜ブルーシア及び横浜市繁殖センター見学

参加人数：20名

(2) 平成28年現地見学会・討論会 仙台周辺の海岸林の見学会と討論会を開催

テーマ：「海岸林再生の取組みとこれから」（企画：防災緑化研究部会）

共催：公益社団法人国土緑化推進機構

後援：国土交通省、環境省、林野庁、宮城県、福島県、公益社団法人宮城県緑化推進委員会、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会、日本林業技士会

①現地見学会

開催年月日：平成28年7月2日(土) 12:00～17:00

場所：宮城県内の海岸林造成地 4箇所

参加者数：40名 ※海岸林再生活動NPO等団体は参加費無料

②討論会

開催年月日：平成28年7月3日(日) 10:00～12:15

開催地：東京エレクトロンホール宮城 401号室（宮城県仙台市）

参加者数：70名

(3) 熊本地震緊急集会・現地報告会

熊本地震の影響があった現地へ入られた会員3名から現地報告

開催年月日：平成28年7月3日(日) 12:30～13:30

開催地：東京エレクトロンホール宮城 401号室（宮城県仙台市）

参加者数：31名

4. 学会誌の発行

(1) 第41巻1号：平成27年8月31日発行 288ページ（第46回大会特集号）

(2) 第41巻2号：平成27年11月30日発行 94ページ

(3) 第41巻3号：平成28年2月29日発行 50ページ

(4) 第41巻4号：平成28年5月31日発行 60ページ

※第41巻2号および3号に特集「防災緑化と土砂災害」を掲載

第41巻2号に特集「海岸林再生の現状と課題」を掲載

第41巻4号に特集「生物多様性に配慮した公共事業の推進にむけた取り組み」を掲載

5. 英文誌 Landscape and Ecological Engineering の発行

(1) Vol. 12 No. 1：平成28年3月発行 1-177ページ（16編）

(2) Vol. 12 No. 2：平成28年7月発行 179-269ページ（11編）

2015年のImpact Factorの係数は0.597

6. 平成27年度日本緑化工学会賞の授与

論文賞：田崎 冬記 氏

「寒冷地における貴重動植物を含む河川環境保全に関する一連の研究」

論文賞：加藤 真司 氏

「都市緑化の評価に基づいた緑化便益の増進手法に関する研究」

研究奨励賞：大塚 芳嵩 氏

「都市緑地における利用行動と地域住民の健康との関連性に関する研究」

研究奨励賞：濱田 梓 氏

「京都市近郊部における緑地形態・土地利用と鳥類生息との関連性に関する研究」

功績賞：江崎 次夫 氏

功績賞：吉川 賢 氏

7. CPD

(1) 緑化・環境CPD協議会 会員数 915名（うち当学会員 724名）

(2) 講習会などの認定と、CPD参加証明書の発行

今期の CPD 認定行事による CPD ポイントの認定は、合計 45.0P となった。

緑化工学会が、シンポジウム 大会 研究集会などを実施し、14.5P 発行した。

国土環境緑化協会連合会が講習会を 6 回実施し、21.5P 発行した。

NPO 法人日本緑化工協会が講習会を 1 回実施し、9.0P 発行した。

各会場で、CPD 参加証明書の発行を行った。

(3) CPD プログラム認定委員会

プログラム認定を随時行った。

(4) その他

ホームページを適宜更新し、認定行事の広報を行った。

8. 学会広報事業

(1) HP 運営ワーキンググループによるホームページの運営

(2) 公式ブログの運営と記事の企画・収集 <http://blog.canpan.info/jsrt/>

(3) メール案内配信の開始

アドレスが登録されている個人会員と、登録要請のあった賛助会員へ連絡事項の配信を開始した。学会誌 41 巻 4 号で案内、2016 年 7 月 1 日にテストメール配信、今年度より 1 ヶ月に 1 回程度の頻度で会員向けに案内事項を配信する予定。

9. 研究部門における新しい活動

(1) 熊本地震への対応について

7 月 3 日に 3 名の会員の方から現地報告をしてもらう集会を開催（企画：企画・事業部会）。

第 47 回大会にて合同研究集会を企画（研究部門長）。引き続き取り組みを検討中。

(2) 防災学術連携体への参加について

54 学会が参画している日本学術会議の防災学術連携体への加入を第 14 期第 5 回理事会にて決定。担当委員は、防災緑化研究部会幹事の小川泰浩理事、田中賢治理事の 2 名を選出した。

11. その他事業

(1) 応用生態工学会第 19 回大会（平成 27 年 9 月 10 日～13 日・福島県郡山市）の後援

(2) 世界屋上緑化会議名古屋大会「WGIC2015」の後援 主催：WGIN NAGOYA

開催年月日：平成 27 年 10 月 13～17 日

開催地：KKR ホテル名古屋（東京都渋谷区） 備考：参加者 394 人

(3) 日本緑化工協会主催「第 37 回緑化工技術講習会」の後援

開催年月日：平成 28 年 2 月 1・2 日

開催地：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

備考：講師派遣 3 名

(4) 日本学術会議農学委員会シンポジウム「都市の公園や未利用地を利用した都市農業の可能性」の後援 開催年月日：平成 28 年 4 月 26 日 開催地：大阪府立大学

12. 会員数（平成 28 年 7 月末現在。括弧内は ←前年度末、←前々年末の数）

(1) 名誉会員： 7 名 （ ← 7 名 ← 4 名）

(2) 正会員： 613 名 （ ←609 名 ← 637 名）

(3) 学生会員： 84 名 （ ←110 名 ← 96 名）

(4) 賛助会員： 55 団体 （ ←55 団体 ← 55 団体）

(5) 購読会員： 38 団体 （ ←40 団体 ← 39 団体）

※ 学生会員に対する会費の優遇措置を、2015 年度より実施

平成27(2015)年度 収支報告書

(平成27年 8月 1日 ~ 平成28年 7月31日)

日本緑化工学会

	費 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差額 (B-A)	対予算割合 (B÷A×100)	摘 要
収入の部	正会員費	4,880,000	4,244,000	-636,000	86.97	正会員 610名 / 今年度入金 530名 (@8,000)
	正会員費・未収金		1,129,000			過年度分入金110名
	賛助会員費	1,925,000	1,925,000	0	100.00	賛助会員 55団体 / 今年度入金 55団体 (@35,000)
	購読会員費	304,000	304,000	0	100.00	購読会員 39団体 / 今年度入金 38団体 (@8,000)
	購読会員費・未収金		16,000			
	学生会員費	380,000	212,000	-168,000	55.79	学生会員 96名 / 今年度入金 53名 (@4,000)
	学生会員費・未収金		76,000	76,000		過年度分入金 11名
	入会登録料	35,000	39,900	4,900	114.00	57名 (@700)
	投稿料	800,000	646,000	-154,000	80.75	通常号(論文・短報)、大会号(論文技術報告)
	広告料	1,400,000	1,360,000	-40,000	97.14	Vol.41-1 ~ Vol.41-4 分
	雑収入	1,300,000	1,317,692	17,692	101.36	別刷・BN販売収入、著作権使用料、J-Stage有料閲覧費、第46回日本大学大会補助費返金、利息等
	小 計	11,024,000	11,269,592	-899,408	102.23	
	繰越金	3,530,015	3,530,015			
合 計	14,554,015	14,799,607	245,592	101.69		
支出の部	会議費	50,000	76,793	26,793	153.59	理事会・評議会会議室借上費 他
	旅費交通費	450,000	958,353	508,353	212.97	理事会交通費
	事務人件費	300,000	321,243	21,243	107.08	本部経費、総務部会事務費、HP・ML管理費、サーバレンタル料
	通信費	750,000	793,795	43,795	105.84	会誌・会費請求書発送費、電話・FAX料
	事務用品費	100,000	119,688	19,688	119.69	総務部会事務用品費、コピーリース料
	学会誌刊行費	6,500,000	5,891,983	-608,017	90.65	学会誌編集・製作委託費、J-Stage登録費用、英文誌出版分担金
	大会補助費	200,000	0	-200,000	0.00	大会開催補助費
	シンポジウム・見学会補助費	200,000	240,827	40,827	120.41	
	研究部会補助費	100,000	166,390	66,390	166.39	
	委員会等経費	100,000	100,000	0	100.00	編集委員会、大会誌編集委員会
	事務委託費	1,800,000	1,877,688	77,688	104.32	学会事務業務委託費(会員入退会、会費徴収、会計事務業務、英文誌刊行事務委託費等)
	CPD等経費	100,000	70,000	-30,000	70.00	管理経費
	諸会費	150,000	140,000	-10,000	93.33	JABEE、JAFEE
	震災特別対策費	50,000	0	-50,000	0.00	震災調査費用
	雑費	100,000	53,235	-46,765	53.24	振込手数料、慶弔費 他
	小 計	10,950,000	10,809,995	-140,005	98.72	
予備費	3,604,015	0	-3,604,015	0.00		
合 計	14,554,015	10,809,995	-3,744,020	74.28		

次期繰越金	3,989,612
-------	-----------

平成27年度 日本緑化工学会の収支決算内容を上記のとおりご報告申し上げます。

平成28年 9月 1日

日本緑化工学会経理担当理事 田中賢治

平成27(2015)年度 貸借対照表 (和文誌・英文誌)

平成28年 7月 31日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	30,239	前受け会費	161,350
預 け 金	4,751,909	未払い費用	899,247
未 収 金	96,350	次期繰越金	3,817,901
合 計	4,878,498	合 計	4,878,498

－ 財 産 目 録 －

資産の部

科 目	摘 要	金 額
現 金	事務局	30,239
預 け 金	みずほ銀行 本郷支店	3,089,397
	本郷郵便局	1,662,512
	小 計	4,751,909
未 収 金	BN販売	6,350
	別刷り代	9,000
	投稿料、会費	81,000
	小 計	96,350
合 計		4,878,498

負債の部

科 目	摘 要	金 額
前受け会費	正会員	74,000
	学生会員	80,000
	正会員(英文誌)	7,350
	小 計	161,350
未払費用	事務委託費	469,422
	ICLEE事務局会費・購読料	429,825
	小 計	899,247
合 計		1,060,597

－ 会 計 監 査 報 告 －

平成27年度(平成27年 8月 1日 ~ 平成28年 7月31日) 収支決算報告書および財産目録に基づき、帳簿類を監査したところ、適正であることを認めます。



平成28年 9月12日

平成27年度 日本緑化工学会

監事

同上

監事


 小林達明

 中野裕司

平成27(2015)年度 日本緑化工学会(英文誌)

【収支報告書】 平成27年 8月 1日～ 平成28年7月31日

	費 目	予算額	決算額	差額	摘要
収 入	正会員費	588,000	602,900	14,900	購読者 80名/今年度入金 82名
	学生会員費	25,200	8,400	-16,800	購読者 6名/今年度入金 2名
	① 収入計	613,200	611,300	-1,900	
支 出	購読費 LEE誌	613,200	558,075	-55,125	購読料(11巻2号、12巻1号)
	諸会費 2016年	150,000	150,000	0	ICLEE運営事務負担金
	② 支出計	763,200	708,075	-55,125	
A. 当期収支 (①-②)		 	-96,775		
B. 前期繰越金		-74,936	-74,936		
次期繰越金 (A+B)			-171,711		

一 会計監査報告 一

平成27年度(平成27年 8月 1日～ 平成28年 7月31日) 収支決算報告書および財産目録に基づき、帳簿類を監査したところ、適正であることを認めます。

平成 28年 9 月 12 日

平成27年度 日本緑化工学会

監事

小林 達 

同上

監事

中野 裕司 

第三号議案

日本緑化工学会 平成 28 年度事業計画 (案)

(平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日)

1. 第 47 回日本緑化工学会大会

開催年月日：平成 28 年 9 月 30 日～10 月 2 日

開催地：京都府立大学 稲盛記念会館ほか (京都府京都市左京区下鴨半木町 1-5)

発表題数：105 題 (論文 22、技術報告 36、研究交流発表 47)

口頭発表 22 件 (論文 13、技術報告 9)、

ポスター発表 83 件 (論文 9、技術報告 27、研究交流 47)

※ 第 48 回大会は日本緑化工学会・日本景観生態学会・応用生態工学会 3 学会の合同大会【ELR2017 名古屋】として平成 29 (2017) 年 9 月 22 日～25 日に名古屋大学にて開催予定

2. 研究会等

(1) 第 47 回大会 研究集会 企画責任者：山田 晋

開催年月日：平成 28 年 10 月 2 日 13：00～14：30

開催地：京都府立大学 稲盛記念会館 104 講義室 (京都府京都市)

テーマ：「河川における生物多様性に配慮した堤防植生管理」

(2) 第 47 回大会 合同研究集会 企画：日本緑化工学会研究部門

開催年月日：平成 28 年 10 月 2 日 14：30～16：00

開催地：京都府立大学 稲盛記念会館 104 講義室 (京都府京都市)

テーマ：「熊本地震災害から考える“緑”のはたらき」

(3) 斜面緑化研究部会

① 第 47 回大会にて研究集会を企画

開催年月日：平成 28 年 10 月 2 日 16：00～17：00

開催地：京都府立大学 稲盛記念会館 104 講義室 (京都府京都市)

テーマ：「斜面緑化工における苗木植栽工の失敗事例～計画、維持管理段階での課題の発見～」

② 勉強会を 2 回開催予定 (第 3 回：平成 28 年 12 月、第 4 回：平成 29 年 3 月)

(4) 都市緑化技術研究部会 講演会を開催

開催年月日：平成 28 年 10 月 12 日 (水) 13：00～17：00

開催地：国立オリンピック記念青少年総合センター レセプションホール (東京都渋谷区)

テーマ：「グリーンインフラを活用した新しい街づくりに向けて」

定員：300 名

(5) 生態・環境緑化研究部会

① 平成 27 年度の仙台開催に引き続き、他地域でも啓蒙普及を目的としたシンポジウム「生物多様性に配慮した公共事業の推進にむけた取り組み」を開催予定

② ELR2017 名古屋にて地域性種苗に関連する研究集会を開催予定

③ 緑化植物ポータルサイトの情報とりまとめ・ホームページへの掲載

(6) 乾燥地緑化研究部会 第 22 回シンポジウムを企画

テーマ：「乾燥地の生態系とその課題」6 (詳細は検討中)

開催年月：平成 29 年 1 月頃を予定

(7) 積雪寒冷地緑化研究部会 「法面緑化技術者のための研修会」(第 3 回) を開催予定。

開催地：帯広市 (あるいは近郊)。 時期は検討中。

(8) 生物多様性緑化研究部会 明治大学主催シンポジウムの後援を予定

シチズンサイエンスに関する活動を計画中

(9) 緑・健康研究部会

「緑と人の健康」に関するワークショップを開催予定。時期および開催場所は未定

(現在活動中の緑化工研究部会)

斜面緑化研究部会

都市緑化技術研究部会

生態・環境緑化研究部会

乾燥地緑化研究部会 積雪寒冷地緑化研究部会 生物多様性緑化研究部会
緑・健康研究部会 防災緑化研究部会

テーマ別のワーキンググループ

- 防災緑化研究部会／盛土緑化ワーキンググループ・沿岸地ワーキンググループ
- 生態・環境緑化研究部会／地域性種苗普及促進ワーキンググループ

3. シンポジウム

(1) 第47回大会 シンポジウム

開催年月日：平成28年10月1日（土） 15：30～17：45

開催地：京都府立大学 稲盛記念会館104講義室（京都府京都市）

テーマ：「在来緑化植物の種苗はどこまで移動可能なのか？」

(2) 平成28年度 公開シンポジウムを開催予定。時期および開催場所は未定

4. 現地見学会

(1) 第47回大会現地見学会 「六甲山系の治山緑化～100年の計の今昔～」

開催年月日：平成28年9月30日（金） 12：20～17：30

見学地：神戸市再度山植林事業地、国土交通省六甲山系グリーンベルト整備事業地

募集人員：25名

(2) 現地見学会 1回以上の実施を予定

5. 学会誌の発行：4回発行予定（第42巻1号～4号）

第42巻1号（既刊）：平成28年8月31日発行（第47回大会特集号）

第42巻2号：平成28年11月末 発行予定

第42巻3号：平成29年2月末 発行予定

第42巻4号：平成29年5月末 発行予定

※第42巻2号に特集「日本法面緑化研究会・日本緑化工研究会・日本緑化工学会の50年に寄せて」を掲載予定

※第42巻3号に特集「積雪寒冷地における緑化工技術の課題解決に向けて」を掲載予定

6. 英文誌 Landscape and Ecological Engineering の発行：2回発行予定（Vol. 13 No. 1, No. 2）

7. 学会賞の授与

平成28年度日本緑化工学会賞の授与（平成29年総会にて授与予定）

8. CPD

(1) CPD行事の認定とCPDポイントの付与、CPD参加証明書の発行

(2) 会員の拡大・新会員へのCPDカード発行

(3) HPの更新

(4) 必要に応じ理事会、検討部会、認定委員会を開催（通常の打合せはE-mailにて行う）

9. 学会広報事業

(1) HP運営ワーキンググループによるホームページの運営

(2) 会員向け連絡メールマガジンの配信、体制確保

(3) 公式ブログの運営と記事の企画・収集 <http://blog.canpan.info/jsrt/>

10. その他

(1) 応用生態工学会第20回記念大会（平成28年9月2日～5日・東京都）への後援

(2) 日本学術会議・防災学術連携体における活動

「学術の動向」11月号防災学術連携体の企画特集で当学会の取り組みについて柴田会長が寄稿、

12月のシンポジウムで話題提供を予定。引き続き、他学会と連携をとりながら活動する予定。

平成28(2016年度) 収支予算書 < 案 >

(平成28年 8月 1日 ~ 平成29年 7月31日)

日本緑化工学会

	費 目	H28年度 予算額 (A)	H27年度 予算額 (B)	差額 (A-B)	摘 要
収入の部	正会員費	4,800,000	4,880,000	-80,000	会員数 600名 (@8,000)
	賛助会員費	1,925,000	1,925,000	0	会員数 55団体 (@35,000)
	購読会員費	304,000	304,000	0	会員数 37団体 (@8,000)/内 1団体2口
	学生会員費	380,000	380,000	0	会員数 95名 (@4,000)
	入会登録料	35,000	35,000	0	50名 (@700)
	投稿料	700,000	800,000	-100,000	
	広告料	1,350,000	1,400,000	-50,000	Vol.42-1~Vol.42-4
	雑収入	1,300,000	1,300,000	0	別刷・BN販売収入、著作権使用料、J-Stage有料閲覧費、利息等
	小 計	10,794,000	11,024,000	-230,000	
	前年度繰越金	3,989,612	3,530,015	459,597	
合 計	14,783,612	14,554,015	229,597		
支出の部	会議費	70,000	50,000	20,000	理事会・評議会会議室借上費 他
	旅費交通費	800,000	450,000	350,000	理事会交通費
	事務人件費	300,000	300,000	0	本部経費、総務部会事務費、HP・ML管理費、サーバルレンタル料
	通信費	750,000	750,000	0	会誌・会費請求書発送費、電話・FAX料
	事務用品費	120,000	100,000	20,000	総務部会事務用品費、コピーリース料
	学会誌刊行費	6,000,000	6,500,000	-500,000	学会誌編集・製作委託費、J-Stage登録費用、英文誌出版分担金
	大会補助費	150,000	200,000	-50,000	大会開催補助費
	シンポジウム・見学会補助費	200,000	200,000	0	
	研究部会補助費	100,000	100,000	0	
	委員会等経費	100,000	100,000	0	編集委員会、大会誌編集委員会
	事務委託費	1,850,000	1,800,000	50,000	学会事務業務委託費(会員入退会、会費徴収、会計事務業務、英文誌刊行事務委託費等)
	CPD等経費	70,000	100,000	-30,000	管理経費
	諸会費	150,000	150,000	0	JABEE、JAFEE、防災学術連携体
	震災特別対策費	50,000	50,000	0	震災調査費用
	雑費	50,000	100,000	-50,000	振込手数料 他
	小 計	10,760,000	10,950,000	-190,000	
予備費	4,023,612	3,604,015	419,597	慶弔費 他	
合 計	14,783,612	14,554,015	229,597		

平成28年9月1日

日本緑化工学会経理部会担当理事 田中賢治



平成28(2016)年度 日本緑化工学会英文誌収支予算<案>

【収支報告書】 平成28年 8月 1日～ 平成29年7月31日

	費 目	平成29年度予算額	平成28年度予算額	摘要
収 入	正会員費	588,000	588,000	購読者 78名
	学生会員費	12,600	25,200	購読者 3名
	合 計	600,600	613,200	
支 出	諸会費	588,000	613,200	LEE購読料(12巻2号、13巻1号)
		150,000	150,000	ICLEE運営事務負担金
	合 計	738,000	763,200	

平成28年 9月 1日

日本緑化工学会経理担当理事 田中賢治



第五号議案 名誉会員の推挙

氏名：

吉田 博宣

現住所：

京都府宇治市

推挙理由：

吉田博宣先生は、日本緑化工学会の設立にご尽力され、平成 7～9 年には副会長、平成 9～11 年には会長を務められるなど長きにわたり日本緑化工学会の発展にご尽力されてきました。ご専門である造園植物材料、デザイン、あるいは景観生態学といった幅広い分野でご研究を進められ、本学会を支える多くの研究者を育ててこられました。とりわけ、法面緑化や環境林造成管理に関して学術的観点から技術開発を先導され、多数の著書と論文を通じて科学的に緑化工学の向上発展を図ってこられました。それらの功績によって、平成 20 年には日本緑化工学会賞（功績賞）を受賞されています。

また、昭和 58 年には日本造園学会から日本造園学会賞、平成 10 年には日本公園緑地協会から北村賞を受賞されています。これに加えて、世界文化遺産特別委員会や文化庁文化審議会専門調査委員会のほか、横浜市文化財保護審議会、東京都公園審議会など、多数の審議会で社会貢献されました。このように、わが国の環境緑化事業と景観保全事業の推進に多大なる貢献をされています。

先生は、平成 13 年に京都大学大学院農学研究科を退職されたのち、平成 20 年まで日本大学生物資源科学科に務められ、現在でも京都大学名誉教授として、大学で教鞭をとられ、あるいは緑化や造園にかかわる公的機関の理事長などを務めておられます。

以上から、これまでのご功績と緑化工学に関するご見識を踏まえると、「名誉会員」として引き続き本学会をご指導いただくのがふさわしいと考えられますので、ここに吉田先生を名誉会員に推薦いたします。

坂本圭児（岡山大学）

小林達明（千葉大学）

柴田昌三（京都大学）